

# 豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業   
  経常事務事業   
  建設事務事業

第5次行政改革大綱第1次実施計画との関連    有 ・ 無  
 有     無

## 1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	子どもの居場所づくりの推進事業										
1-2 担当	部	教育部	課 又は施設	生涯学習課	係	生涯学習係	評価票作成者	青少年担当係長 加藤新平			
1-3 総合計画における施策の体系	節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」				基本施策	青少年健全育成	コード	4 1 5		
	項	生涯学習の推進				単位施策(中)	社会参加活動の支援	コード	4 1 5 1		
						単位施策(小)	子どもの居場所づくりの推進	コード	4 1 5 1 1		
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市民指導員・協力ボランティアの増員。		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		市民指導員を増員し、市民自らが子どもらの休日を、有意義に過ごすことができるように環境整備を行う。					
1-5 事務事業の内容	子どもたちの休日の活動として、スポーツクラブと同じように文化系のクラブを設立、現在10クラブが活動している。毎年4月、好きなクラブに申込みをし、年間をとおして、それぞれのクラブの計画に基づき活動してもらう。										

## 2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み			社会状況等の事務事業がおかれる環境把握			市民ニーズの認識				
	平成18年度	限られた補助金の中での活動のため、各クラブの指導員の方々に知恵を絞って活動に取り組んでいただいた。			自由に過ごしたい子どもも、市内にはたくさんいると考えられる。			休日の過ごし方として、色んな選択肢がたくさんあると良い。			
	平成19年度										
	平成20年度										
	平成21年度										
	平成22年度										
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
平成27年度											
2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名			前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明					
	学校の先生が指導員に入っていないクラブの割合(%)			60(%)	100(%)	市民指導員による各地区でのクラブの設立が、平成17年度9クラブの内2クラブ・平成18年度10クラブのうち4クラブであり、全てのクラブの企画・運営を市民指導員が行う。					
2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(日)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	486									
	人件費 c(千円)	4,157									
	合計コスト d(b+c)(千円)	3,000									
	単位コスト d/a(千円)	7,157									
アウトプット実績(活動数値)の補足説明		1日当たり 14.7	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

→ 直接事業費は、市補助金の額。人件費は係担当の関わりから0.3人として算定した。

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	40(%)									
	後期目標値に対する達成度(%)	40.0(%)									

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A									

4段階評価結果  
 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する  
 B : 事務事業の実手法や環境(予算的・人的)に改善が必要  
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要  
 D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準  
 必要性(必要な事務事業であるか)  
 公共性(公が実施する意味があるか)  
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)  
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)  
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)  
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度	平成18年度	現状では、今後について大きな変化は望めない。	現状維持	子どもフェスティバルで、クラブ活動の成果を発表している。
	平成19年度			
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度		
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		